

調査開始からまもなく40年、

発掘からわかった遺跡のおはなし。

AKAI

ここまでわかった！

赤井官衙

東松島市文化財講演会

遺跡

2026 3.15^①

13:30 ~ 15:00(開場13:00)

赤井市民センター 多目的ホール

入場無料 / 予約不要

講師：佐藤敏幸氏

(東北学院大学博物館学芸員・同大非常勤講師)

主催：東松島市教育委員会 問：0225-88-2292 (生涯学習課文化財係)



東松島市文化財講演会

赤井官衙遺跡

ここまでわかった！



赤井官衙遺跡は、今から約1300年前の役所・軍事施設である「^{おしかぐけ}牡鹿郡家」・「^お牡鹿柵」と考えられています。当時は奈良の平城京に都がおかれ、^{むつくに}陸奥国(福島県・宮城県)を治めるために多賀城が造営されました。

東松島市は陸奥国牡鹿郡に属しており、蝦夷と呼ばれる人々の領域との境界でした。朝廷は蝦夷の範囲との境界であるこの地域に城柵と呼ばれる軍事・行政施設を設置し、歴史書である『^{しよくにほんぎ}続日本紀』には「牡鹿柵」という記述があります。

第一部は、最新の発掘調査成果を、当館主任学芸員重森直人がお話しします。第二部は、赤井官衙遺跡がどのような遺跡であったのか、日本の歴史における位置づけを東北学院大学博物館学芸員・非常勤講師である佐藤敏幸氏にご講演いただきます。

- 1. 材木堀と溝に囲まれた倉庫跡
- 2. 赤井官衙遺跡全景
- 3. 材木堀に囲まれた建物跡
- 4. 南東辺の材木堀と大溝の跡
- 5. 材木堀跡
- 6. 土舎人と墨書された土器
- 7. 荷札の木簡「海道二番」

2026

3.15(日) 赤井市民センター 多目的ホール

入場無料 / 予約不要

13:30 ~ 15:00(開場13:00)

スケジュール

- 13:00 開場・受付開始
- 13:30 開会のあいさつ
- 13:35 赤井官衙遺跡の最新の調査について
- 13:55 講演
- 14:50 質疑応答
- 14:55 閉会のあいさつ
- 15:00 終了

講師紹介



佐藤 敏幸氏

博士(文学)、東北学院大学博物館学芸員・同大文学部非常勤講師
元・東松島市教育委員会生涯学習課文化財班長
長年、赤井官衙遺跡の発掘に従事

アクセス

東松島市赤井字川前三 189-1
三陸道石巻港 IC から車で 5 分
JR 陸前赤井駅から北に 1.3km



©Google Maps

